



安国論寺

鎌倉市老人クラブ連合会

発行人：奴田不二夫
編集人：門田 京蔵
原田 光・伊藤 実
赤井 明郎・中村 幸一

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10
鎌倉市老人クラブ連合会(通称・みらいふる鎌倉)
☎(0467)61-3930

第68号

印刷・編集協力 (株)博報社 大阪本社／広告制作 (株)博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲944-3 ☎(046)280-6001



かまくらびとに聞く 最終回

みらいふる鎌倉名誉会長 大久保 安夫 氏

平成16年11月、みらいふる鎌倉(鎌倉市老人クラブ連合会)第6代会長として就任された大久保安夫氏。以来6年にわたり陣頭指揮を執り、獅子奮迅のご活躍をされましたが、病氣治療のため平成22年に退任、第7代会長・奴田不二夫氏へバトンを手渡されました。第5代目・故高橋清良会長からバトンを受け取られた当時のこと、会長職時代の思い出などを振り返りつつ、名誉会長という今のお立場から、「みらいふる鎌倉」への熱い思いを語っていただきました。(2ページへ続く)

★みらいふる鎌倉の活動が、中学生の公民の教科書に掲載されています！(詳細は5面へ)

4月26日、平成24年鎌倉市老人クラブ連合会総会が鎌倉生涯学習センターホールで開催されました。
開会の前に「みらいふる鎌倉」の歌を参加者全員で斉唱し、沖田副会長による開会のことはで総会が開幕、続いて奴田会長のあいさつがありました。
「今年の4月から「神奈川県老人クラブ連合会」が従来の財団法人から公益法人として再出発する中、『みらいふる鎌倉』も今後連合会の活動についても事業をオープン化することで公共



平成24年総会を開催

公共性・公益性をとらえた
オープン事業の推進を目指す

性・公益性をめざし、会員の加入促進を図っていきたくと考えております」と方針を述べました。また、今年春の中学校公民の教科書にみらいふる鎌倉の活動(友愛・見守りなどの社会貢献活動や東日本大震災の被災地老連との交流活動など)が紹介され、みらいふる鎌倉が地域活力の一翼を担う組織として取り上げられたこと、そして今年製作した会員手帳についても言及、手帳提示による割引など今後の展開を強化していくこと、また東日本大震災被災地老連との交流活動についても引き続き実施する構えであると述べ、一層の理解と協力を求めました。

後満場の拍手をもって承認されました。議案が滞りなく審議された後議長が退任、山下副会長による閉会のことはで総会は幕を閉じ、新年度に寄せる期待が大きく膨らむ中、総会が終了しました。
第一部までの幕間には、鎌倉警察署より、演歌のメロディーに乗せた『振り込め詐欺防止の歌』の紹介とともに啓蒙のための講話がありました。
第二部講演会は、教養部長・門田京蔵氏を講師に「松竹大船の残したものを演題にした講演会が行われました。昭和11年から平成8年までの65年間に松竹大船で撮影された作品は、城戸イズム、いわゆる大船調の伝統のもと、家族を「核」にした作品の系譜は、小津安二郎・木下恵介・山田洋次監督へと引き継がれ現在もそのころは生きている。大船で活躍した田中絹代・原節子・高峰秀子等の出演作は監督とのよき絆と理解があったからこそ生まれたのであると結ばれ、映画とともに歩んだ青春時代を彷彿とさせる講演会となりました。

鎌倉市の人口 177,225人 高齢化率(60歳以上)全市27.50% 鎌倉市老連会員数3,809人 地区別 鎌倉地区1,334人(35%)、腰越地区451人(11.8%)、深沢地区700人(18.4%)、大船地区696人(18.3%)、玉縄地区628人(16.5%) 平成23年12月末現在 ◎数字は住民基本台帳をもとにしています

★鎌倉市老連ホームページアドレス <http://www.miraifuru-kamakura.com> ★メールアドレス info@miraifuru-kamakura.com

― 九年間、会長職を務めてこられた故高橋清良会長の後を引き継いでのご就任は、非常に覚悟がいるというか、大変な重責ではなかったかと思います。

大変なんてもんじゃありませんね。総務部担当副会長として2年間、高橋会長のご活躍を側で見ていたから、私に会長職が務まるのかどうか不安でした。市老連役員の皆さんや事務局の秋山局長に支えていただいて、どうにかこうにか頑張れたと思います。

― 最初に取組まれたのが健康づくりでした。

高齢者は、何はなくともまずは「健康」です。老人クラブ活動を活発に行うにも健康でなければ出来ません。そこで翌年（平成17年）の6月、市高齢者福祉課・スポーツ課との共催で地域出前講座「いきいき健康体操講座」をオープン事業として開始しました。オープン事業として会員に限らず市内の60歳以上の方ならどなたでも参加できる形にしたのは、新規会員獲得のためです。この当時から会員の減少問題に頭を悩ませていましたから。

― 同年十一月には活性化委員会を発足されましたね。

会員の減少問題に加え、団塊世代の取込みについて早急に対応するため立ち上

げました。加入促進は、市老連と各地区、各単位クラブが連携して行わねば効果が挙がりませんから。

― 大久保会長考案の「変わらなくちゃ、老人クラブ」のキャッチフレーズが生まれたのもこの頃でした。

「やまもも」でも再三、加入促進に熱心に取組むクラブを取り上げたり、「やまもも」の内容充実が加入促進に繋がるとして、ハガキによるご意見も募りました。まず、我々老人クラブが変わることが先決だと考えました。



― 平成19年6月1日からJCN鎌倉との共同制作で開始したオリジナル番組「鎌倉元気のススメ!」を放映、そして全国公募した新愛称「みらいふる鎌倉」の決定、また、シンボルマークとPRソングの誕生と、「変わらなくちゃ、老人クラブ」のキャッチフレーズにふさわしい目覚ましい活躍でし

た。

自分で言うのも何ですが、この頃は一番忙しかったですね。しかし充実感もありました。いきいきと活動し、明るい未来の光が降り注ぐ老人クラブの意味が込められた、「みらいふる鎌倉」の名称に恥じぬ活動をすすめたいという意欲で溢れていました。

― こうした一連の取組みが評価されて、翌年（平成20年）の全国老人クラブ大会で神奈川県下31団体から唯一、「活動賞」を受賞されました。また、その翌年（平成21年）の全国老人クラブ大会で会長は「育成功労表彰」を受章されました。

先進的な活動を実施しているという評価でいただいた「活動賞」は、本当に嬉しかったですね。進めてきたことに間違いはなかったと実感できました。ずっと役員の皆さんや会員の皆さん、秋山事務局長に無理ばかりお願いしてましたから正直ホッとしたのもありました。「育成功労賞」は、心がほかほかしたというか、皆さんに支えていただいて受章できたという感謝の気持ちでいっぱいです。

― 大久保会長は、交流事業にも熱心でした。

水も一所に留まると濁ります。老人クラブも同じです。他市老連との交流で常

に刺激を受けることが大切です。これまで交流した横浜市栄区シニア連合をはじめ、栃木県足利市、小田原市老連、沖縄県老連との交流活動は、みらいふる鎌倉にとって大きな活力となりました。

― 大久保会長の意思を受け継いで新しい取組みに果敢に挑戦している「みらいふる鎌倉」へ、最後にひと言お願いします。

今の「みらいふる鎌倉」は毎年毎年進化しています。さすがは奴田会長、歴代の会長にはなかった斬新なアイデアと行動力で頼もしい限りです。特に、今年制作された会員手帳は素晴らしい取組みだと思います。手帳を通じて会員相互の絆を深めることが出来るし、手帳を掲示して得られるサービスも今後展開していけると聞いておりますので、大いに楽しみです。これからも会員の皆さんが「明るく、楽しく、元気に

大久保安夫氏の略歴

平成16年11月から第6代鎌倉市老連会長に就任。在任中は就任直後から、特に会員増強運動に精力的に取り組まれ、サロン事業や鎌倉ケーブルテレビ「鎌倉元気のススメ」の放映なども開始しました。また、新愛称「みらいふる鎌倉」とシンボルマークの決定など、新しい時代の老人クラブとして「みらいふる鎌倉」の名を全国に発信。

平成21年、第38回全国老人クラブ大会で育成功労表彰を受章。

平成22年市老連会長を退任。現在は名誉会長に就任し、みらいふる鎌倉の活動を見守っている。

神奈川県住宅供給公社の介護付有料老人ホーム

ヴィンテージ・ヴィラ横須賀

入居時自立

～ 将来の安心を手に入れ、愉しく優雅に住もう～

― 一般型特定施設入居者生活介護 ―
◎主な入居資格：満65歳以上、身の回りのことが出来る健康状態の方
◎入居時費用：2,760万円～ ◎総戸数：156戸
※入居時の費用は、面積や入居時の年齢によって異なります

■お問合せ・見学申し込み… 見学随時受付中！

神奈川県住宅供給公社 高齢者住宅課

0120-428-660 (平日9時～17時)



平成24年度 みらいふる鎌倉（鎌倉市老人クラブ連合会）事業計画

月	日	市老連事業・会議	担当部会	県老連関連、横・三ブロック、栄区事業
4	6(金) 10(火) 26(木) 26(木)	23年度会計監査 役員会 市老連総会 友愛活動開始(通年) ・施設型(6カ所)・在宅型(6カ所)	総務部 女性部	
5	16(水) 20(日) 21(月)~22(火) 24(木)	役員会 機関紙「やまもも」第68号発行 市老連春期旅行 グラウンドゴルフ大会(予備日:25(金))	教養部 厚生部 スポーツ部	横・三ブロック 連絡協議会 / 15(火)
6	2(土)~ 13(水) 19(火)~20(水)	ダンス講習会(~7/15(金))5回 社協 役員会・定例会 千葉ロマンの森(栄区共催事業)	 スポーツ部	関東ブロック大会(茨城県) / 19(火)~20(水) 横・三ブロック 単位クラブリーダー研修会 / 27(水)
7	2(月) 10(火)~13(金) 29(日)	役員会・定例会 第48回老人大学寿講座(きらら鎌倉) ダンスパーティー	教養部	
8	15(水)	会長研修会		カラオケ大会(きらら鎌倉) / 24(金)
9	2(日) 12(水) 24(月)~26(水)	福祉バザー 役員会・定例会 市老連秋期旅行	女性部 厚生部	横・三ブロック 友愛チーム研修会 / 13(木)
10	9(火) 10(水) 28(日) 31(水)~	銭湯寄席 役員会・定例会 健康マージャン大会 高齢者の趣味の作品展(~11/6(火))	 厚生部	全国老連50周年大会(東京都) / 4(木) 栄区福祉大会 / 5(金) 横・三ブロック グラウンドゴルフ大会 (笛田公園広場) / 18(木)(予備日:19(金))
11	8(木) 9(金) 10(土) 25(日)	役員会 功労者のつどい・芸能祭 歩く会(予備日:24(土)) 機関紙「やまもも」第69号発行	総務・厚生部 スポーツ部 教養部	グラウンド・ゴルフ大会 / 1(木)(予備日:2(金)15(木)) 栄区とのグラウンドゴルフ大会 (栄グラウンド)
12	12(水) 16(日) 20(木)	役員会・定例会 ダンスパーティー(きらら深沢) 年末慰問	厚生部 女性部	
1	10(木)	新年賀詞交歓会(鎌倉プリンス)	総務部	
2	13(水) (月間)	役員会 加入促進運動	総務部	
3	6(水) 13(水)	実績報告・予算書の配布 役員会・定例会		

みらいふる鎌倉の動き

市老連活動の報告と情報のコーナー

皆さまの参加を
お待ちしております！

公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター

シルバーパワーで、お仕事大募集！

こんな仕事をお引き受けします。きっとお役に立ちます。

★ 仕事内容 ★

◆家事の手伝い(室内の清掃・買い物・庭の水撒き) ◆除草作業
◆植木の手入れ ◆屋外清掃作業 ◆墓地の清掃(市内)など

「仕事を頼みたい」とお考えの方は下記へ連絡をお願いします

お問い合わせ

鎌倉市笛田1-10-1 ☎(0467)38-1881

ビッグエコー特別優待サービスのご案内

1.サービスの有効期限：1年間（年度末に自動更新）
2.優待サービス内容：ご利用金額の総額20%割引
(1)室料、飲食全て20%割引になります。
(2)大船駅前店を平日(土・日以外)昼のフリータイム(10時～19時)でドリンクバーをご利用いただいた場合、通常料金1,000円⇒800円となります。
※なお、60歳以上のお客様は、通常800円⇒640円となります。
※また、店舗により料金が異なります。詳細は各店舗へお問い合わせください。
3.ご利用方法：別途、あらためてご案内差し上げます。
4.ご利用対象店舗：大船駅前店

会員手帳をご提示の方は、
総額20%割引
でご利用いただけます！

栄区交流事業

更なるふれあい交流の進展を！

栄区シニア連合会前会長 高山 晋一

鎌倉市老人クラブ連合会と栄区シニアクラブ連合会のお隣同士のお付き合いが始まったのは、平成19年10月18日鎌倉の笛田公園で開催された親善グラウンドゴルフ大会でありました。

また、12月22日には、鎌倉芸術館で開催されたダンスパーティー参加のお誘いを受け、何百人の会員の皆さまの華麗なるダンスに度肝を抜いたことを思い出します。

平成20年度からは、双方

の交流の輪は一段と広がり、鎌倉の指導者研修会・鎌倉市老人大学講座に栄区から講師を派遣しました。一方、文化芸能面では、10月栄区の福祉大会、11月鎌倉の芸能祭にそれぞれ相互乗り入れが実現しました。また、スポーツでもグラウンドゴルフを年2回親善大会として行い、交流の輪を広げました。

最後に、特筆すべき事業は、「東日本大震災仙台地区復興支援共同旅行」の開催です。栄区シニア連では、例年6月に開催していたふれあい旅行を9月に変更して「被災地祈念」仙台市内視察と秋保温泉のバスツア

ーを企画しました。この話をみらいふる鎌倉の奴田会長にお話したところ、即、趣旨賛同してくださり、その結果栄区200人・鎌倉市60人の総勢260人が9月13日仙台市秋保温泉岩沼屋に宿泊し、佐藤仙台市老連副会長・若林区老連会長、田邊宮城野区老連会長から巨大地震・大津波の恐ろしさ・被害状況の報告を受けました。

何よりも意義があることは、栄区シニア連・みらいふる鎌倉の代表260人の面々が、大災害を受けた被災地激励の旅を挙行したことです。この旅行で、全老連加盟の

平成24年度
第48回 老人大学寿講座

— 教養センター夏期講座共催 —

開催日：7月10日(火)～13日(金)の4日間
場所：きらら鎌倉（鎌倉生涯学習センター）
主催：みらいふる鎌倉（鎌倉市老人クラブ連合会）
鎌倉市社会福祉協議会

日	内 容
7月10日(火)	時間／9：40～11：40 演題／老いを忘れて老いを忘れず —横井也有「うづら衣」のころ— 講師／岡田 芳郎（エッセイスト）
7月11日(水)	時間／9：30～11：30 演題／3・11 大震災から1年 ～巨大津波地震と原発事故が残した教訓～ 講師：吉村 秀実（ジャーナリスト・元NHK解説主幹）
7月12日(木)	時間／9：30～11：30 演題／東洋医学による認知症の予防と改善 講師：兵頭 明（学校法人後藤学園 中医学研究所所長）
7月13日(金)	時間／9：30～11：30 演題／「かまくら今昔抄」よりベストテン・アラカルト 講師／清田 昌弘（郷土史研究家）

アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



平成26年9月に創立50周年を迎えるにあたり、みらいふる鎌倉の将来に向けて会の活性化、会員加入の促進を図るにはどうすべきか会員各位の現状をふまえて皆さまのお声を聞くため、「みらいふる鎌倉会員アンケート」として会員の中から約800名の方々にお配りし、お答えいただきました。この結果をふまえ、今後より充実した活動へ繋げていきたいと思ひます。

また、アンケートの結果は集約し、次号（69号）に掲載させていただきます。（勢年部）



仲間同士が「仲間を支え合い・助け合うことができ、文字通りの友愛活動」の実をあげることができたことです。

浪江町通信

交流会のお礼と浪江町の現状

浪江町 まちづくりNPO新町なみえ
理事長 原田 雄一

昨年の10月11日～12日、鎌倉市老人クラブ連合会様より私たち浪江町の老人クラブ30名がお招きをいただき、思い出深い鎌倉旅行をさせていただきましてから早いもので半年になりました。

この間、私どもは、県内・県外に避難している町民の方々との交流を深めながら、11月5日～6日には二本松市におきまして、130有余年続いております、浪江町の秋祭り「十日市」を開催いたしました。

全国各地から町民の方々が集い、あちこちで涙を流しながら再会を喜び合っている姿が見られました。

また、3月11日には、やはり二本松市において昨年の大津波で亡くなられた方々の「追悼式」と、この一年を振り返り明日に向かって次に進む一歩とするための「なみえ3・11復興のつどい」を開催いたしました。

あつという間の一年でしたが高齢者の方々の中には、畑をお借りして共同で野菜などを作ったりして積極的に動いている人も出て

まいりました。また、各地で自治会組織を立ち上げ、地域の人をまとめながら新しいまちづくりの提言をしている人もおります。町もようやく現在の「仮設住宅」や「借上げ住宅」での生活から以前のコミュニティを持った「復興住宅街」の構想を打ち出し、新年度から復興計画が作られるようになります。

一方、各地の交流会などでも高齢者の方の出席が少なく、引きこもりがちになっている事実があり、全国各地で地域の人たちとの交流もままならず不安を抱えて生活しているお年寄りも大勢おります。この方々に対するケアが大きな課題です。鎌倉市老人クラブ連合会の皆さまのように目的をしっかりと持って活動してもらうことが夢です。その意味でもあの時期に私たちをお呼びいただいたことは、どんなに力になったか知れません。ありがとうございました。

避難は長期化すると思いますが、これまでいただきました温かいご支援を心よりお礼申し上げます。

◆表紙の写真 安国論寺

日蓮宗、建長5年創建、三方を山に囲まれた鎌倉の東南、松葉ヶ谷に位置する。

この寺は、日蓮上人が初めて庵を結び、約20年をここで過ごし、その聖跡が寺となったもので、境内には、立正安国論起草の御法窟、熊王尊殿等日蓮上人ゆかりの霊場が多くある。

山門に掲げられた「立正安国論」の一節、「汝、早く信仰の寸志を改めて…」は未曾有の災害に見舞われたわれわれに警告を発しているようである。

境内には、山の尾根を一周する感じで道が付けられてあり、日蓮上人が日々、富士山に向かって法華経を唱えたという富士見台、鎌倉の街と海が一望できる富士見台の背後には、立正安国と世界平和を祈念して鳴らされる梵鐘が据えられており、さらに進むと日蓮上人が法難を逃れたという南面窟があり、境内巡りは興味が尽きない。

日蓮上人の杖が根付いたといわれる妙法桜、サザンカ、海棠が市天然記念物の名木であり、その他にも四季を通じて花々を楽しめる寺で、12ページの「鎌倉散歩」をあわせて訪れよう。(A)



南面窟

中学生の教科書にみらいふる鎌倉の活動が紹介されています

(帝国書院／アドバンス中学公民資料・神奈川県版より抜粋)



写真では、浪江町老連との交流会や元気袋についての活動の様子が紹介されています。
←(中段)

高齢化率が比較的高い地域(鎌倉市)

かつては、幕府がおかれ、武家の都として栄えた鎌倉市。高齢化率は27・5%で全国平均(23・0%)を上まわり、県内の市では三浦市、逗子市について3番目の高さである。鎌倉市では、老人クラブ連合会の活動がさかんで、高齢者はさまざまな活動に参加している。

●みらいふる鎌倉(鎌倉市老人クラブ連合会)

鎌倉市老人クラブは1964年に発足した組織で、現在の会員は約4000名である。2008年には全国公募により、「みらいふる鎌倉」を愛称とし、「地域活力」の一翼を担う組織として活動している。

会員は、全国各市との交流や周辺の市との垣根をこえた活動を行っている。また、市内公園などの清掃や老人ホームへの友愛活動、登下校時における子どもたちへの声かけや見守り活動などといった社会貢献活動も行っている。そうした活動が評価され、2010年全国老人クラブ連合会優良老人クラブ表彰を受賞した。



みらいふる鎌倉の会員と ボランティア活動

小袋谷第一亀甲会 赤井 慶子

設、地域のイベントで活動し、健康に感謝しつつ生きがいを感じております。

昨年は、鎌倉芸術館・小ホールにて東日本大震災へのチャリティ公演で自分が主催する会が20周年発表会を行うことができました。

また、小袋谷第一亀甲会の会長を3年務め、姉妹市との交流会、各部会の活動等に声をかけていただき、微力ながら喜んで参加しま

私は幼少の頃日本舞踊を習い、子どもの手が離れてから舞踊団の一員として舞台、テレビ等で活動していましたが、ある時、体が悪くて外に出られない主人に

したが、中でも、浪江町老人クラブ連合会の会員の方々を招待して、従兄弟たちの前で踊らせていただいた時、亡父の姿が浮かび感無量でございました。

も見せてあげたかった」と
声をかけられました。その
涙ぐんだ奥様の姿に、私の
趣味が役に立つのならと、
笑顔をもっとにボラン
ティア集団を作り、老人施
ております。

「だます心、
だまされる心」

長谷甘縄会会長 石渡 好行

私は人様のお役に立ちたい、愛されたい、褒められたい、必要とされたい、感

謝されたいと日頃思って行動しています。

昨今、振り込め詐欺被害は増大する一方です。関係官庁、銀行、マスコミなどが防止キャンペーンに力を入れています。が、あまり効果がないようです。

自分はマジックを趣味としているので大体は見当がつきますが、マジックはだましのテクニクでもお客様を楽しませるためのだまし。振り込め詐欺はとんでもないだましのテクニク



ない高齢者などをだますのは、朝飯前のように簡単なのです。

です。

それを複数の人間が脚本を作り、練習を重ねて演技をすれば、訓練を受けてい

皆さん、わがままの反対語を知っていますか。そうです。素直です。赤ちゃんの笑顔を見ていると癒されますよね。一点の曇りもない純情そのままだす。我々は「がんこ」そのままだす。一度こうと思ひ込んだら誰がなんと言おうと絶対に言うこととを聞かない。これが振り込め詐欺の思いつぽです。

私は鎌倉市から振り込め

詐欺の被害をなくすために
会長になりました。被害を
なくすためのいろいろなノ
ウハウを駆使して、被害を
なくすことができればこれ
以上の喜びはありません。
わがままをやめ、素直にな
れば振り込め詐欺に遭わず
に済みます。頭脳を柔らかく
すれば素直になります。

　　ありがとを年齢×1万
回、今から唱えてください。
必ずあなたの周りの環境が
好転します。やってみてく
ださい。



頭の体操

離山ちとせ会 伊藤 仁

の活性化を図っています。
主な表題・内容を簡単に列挙してみます。

食べている魚（魚偏）さがし。出回っている野菜（漢字で）。女の一生（女偏）みつけ。

アイデア漢字作り（闘トウゲートボール）。俳句・川柳作り（上・中・下の句にわかれて）。

なやみ相談（なやみを書きユーモアな解決文にあわせる）。など。

しゃべりから始まります。
わが会では、童謡など約
70曲の歌詞冊子を配り「み
らいふる鎌倉」から始め、
毎回5・6曲唄います。歌
の次は頭の体操と称して脳

絵書き歌（歌いながら）
字抜き歌。替え歌（言葉や
動物の鳴き声）。動作の歌
（歌詞と反対の動作）。歌合
（2曲を交互に1節ずつ、
異なる曲を同時に歌う）。

やさしい輪唱（2・3部）。曲想を変えて（速度・リズム・長調曲を短調で）。などに。時にはカラオケが入ります。

室内運動として。新聞裂き競争（新聞紙を長短に裂く）。ニアピンゴルフ会。ロケット飛ばし競技（雨のビニール袋利用）。など。

こう会は年間計画の中で実施しています。

今年は5年ごとの創立45周年として、原稿を持ちより、70ページの記念誌を有志が手作りで印刷、製本をして発行しました。



頭の体操司会

投稿 あなたの座右の銘

借老同穴

寺分楓会 中田 利雄

私は農家の三男坊に生まれ育った。母曰く、「長男

以外は別家と称して独立するんだよ!」と尋常高等学校5年の時に聞かされた。「一生勤め人になるんだから、その道を選択すれば良い!」と諭され、工業学校を卒業して自動車会社に就職した。

就職した年は、戦後から4年目(第二次世界大戦)であり焼け野原から細々とトラックの生産が始まった。いまでは想像もつかない1日10台、月産200台

足らずであった。幸いにして高度成長の波に乗った企業でもあり、日本国内だけ

私の座右の銘

笛田東芝珀桜会
原田 光

『水流任急境常静』。これは中国の有名な古典の一つである『菜根譚』の後集62項に記されている名言である。

『急な水流もその流れに任せていれば、その境は常に静かである』

という教えである。

では事足りず、グローバル戦略と称して国外にも投資して合併企業を幾つも設立した。また、技術援助も惜しみなくできた良き時代でもあった。

自分でも理解に苦しむものだったが、昭和39年4月に駐在員として海外出向を命じられる辞令を手にした。入社15年目である。先輩からも海外の話聞かされ、一度は国外での仕事ができれば良いなと思っていた矢先ではあったが、嬉しさと心細さが交錯する心境にあった。

海外勤務の話が家族にしたところ、一番気落ちしていたのは父であった。長男が23歳で昭和19年に、次男が21歳でいずれも飛行兵で戦死していたから。農業で生計を立てていた私の家は

私の父が、昭和34年に肺がんで癌研に入院したときに、渋沢敬三先生から、お見舞いとともに戴いた色紙に記されていた言葉である。父は、詳しいことは語らなかつたけれど、戦後の最初の大蔵大臣をされた澁澤敬三先生(明治の元勳澁澤栄一先生の孫)が主宰されておられた『日本常民文化研究所』の資料集めのお手伝いをしていたらしい。

最近発刊された文藝春秋季刊春号『家族を守る』のなかに記載されている「渋沢家百年のオヤジの背中」

「男の手」が欲しかったに違いないのだ。当時の農業は全て人の力に頼っていたからである。両親にしてみれば戦争の傷跡は、人には言えない深いものがあつたと思うのだ。外国の治安は良くなってきているとは言え、日本に比べればいつ、何が起こるか分からない不安もあつたのである。

会社勤めでの職歴を振り返ってみると定年まで43年間勤めたが、そのうち16年間が海外勤務であった。一番長かったのが極東地区の7年間、あとは散発的に1、2年周期で海外勤務を重ねた。

外国の企業は時間内での勤務に徹しており残業は無かった。現地の社員は誰しもが家庭サービースに徹しており、特に休日は家族団ら

の文章のなかに、敬三さんのご長男渋沢雅英さんが、自らが学者でありながら、あの有名な考古学者の宮本常一を支援し、育てられたことが語られている。

そのお手伝いをしたご縁からか、私の父は、その癌研入院から肺がんで死ぬまでの半年間、先生から身に余る多くのご厚情を受けたことは、家族一同深く感謝しておるところであります。

平成16年・小生の金婚式のとき家族一同で、渋沢家の秘書であられた、杉本行雄さんが報恩のため、東京

ん、外での食事をする人が多かった。また、旅行も同様に家族連れが目立った。当時、仕事、仕事と言って会社に気遣っているのは日本人だけのようでもあった。

駐在員の仕事は与えられた業務の他に、日本から散発的に業務応援に来た人達を無事に飛行機に搭乗させて帰国させるまでが任務である。飛行機が離陸すると、ホッとして我に返ると同時にむなしさだけが残った。家族や親戚知人の顔が、そして生まれ育った故郷の山川草木が見え隠れし、そして一抹の寂しさがぐっと込み上げてくる。…このむなしさ：今に思えば単身赴任の奔りでもあった。耐えなければ、耐えて、耐えて、耐え忍ぶという言葉は現地にもあった。空港ではいつ

の文章のなかに、敬三さんのご長男渋沢雅英さんが、自らが学者でありながら、あの有名な考古学者の宮本常一を支援し、育てられたことが語られている。

そのとき、ホテル12階の『延喜の間』の床の間に、それと全く同じ言葉の『水流の額』が掲げられていたのを見たとき、全員絶句し感動した。

の文章のなかに、敬三さんのご長男渋沢雅英さんが、自らが学者でありながら、あの有名な考古学者の宮本常一を支援し、育てられたことが語られている。

そのとき、ホテル12階の『延喜の間』の床の間に、それと全く同じ言葉の『水流の額』が掲げられていたのを見たとき、全員絶句し感動した。

そのとき、ホテル12階の『延喜の間』の床の間に、それと全く同じ言葉の『水流の額』が掲げられていたのを見たとき、全員絶句し感動した。

も「星影のワルツ」を涙ながらに歌いながら別れを惜しんだ。

日本に帰ったら家族揃って休日には外食し、また旅行にと思っていたが、いまだに妻子を連れて行動を共にしたことは一度も成し得なかつたような気がする。「お父さんは、口ばかりで何もしてくれなかつた!」と今だに言われている。

平成4年に定年退職し、第二の仕事(世に言う天下り先)も6年で切りをつけ平成10年に自営の酒屋の商売に専念することとした。店を仕切っていた妻が、不治の病に倒れたからである。あれだけ元気で健康に恵まれ、子育てし、両親の世話をしながら面倒を見て、そして酒屋の商売と、二足の草鞋以上の仕事を切り盛りしてくれていた。でもこの間、妻は一言も苦言を呈したことは無かつた。以来13年があつたという間に過ぎ去つたように思う。私なりに過去を反省し、また、申し訳なかつたと後悔しており、これから何年続くかわからないが妻の看病に徹してあげたいと思っている。

少し前の話になるが、平成22年4月15日金婚の日を迎え子供や孫たちがお祝いをしてくれた。その席で私が愚痴めいた言葉を口にした。「子供たちは俺に馴染みがないんだよね!」と。妻曰く、「それは無理です

も「星影のワルツ」を涙ながらに歌いながら別れを惜しんだ。

日本に帰ったら家族揃って休日には外食し、また旅行にと思っていたが、いまだに妻子を連れて行動を共にしたことは一度も成し得なかつたような気がする。「お父さんは、口ばかりで何もしてくれなかつた!」と今だに言われている。

平成4年に定年退職し、第二の仕事(世に言う天下り先)も6年で切りをつけ平成10年に自営の酒屋の商売に専念することとした。店を仕切っていた妻が、不治の病に倒れたからである。あれだけ元気で健康に恵まれ、子育てし、両親の世話をしながら面倒を見て、そして酒屋の商売と、二足の草鞋以上の仕事を切り盛りしてくれていた。でもこの間、妻は一言も苦言を呈したことは無かつた。以来13年があつたという間に過ぎ去つたように思う。私なりに過去を反省し、また、申し訳なかつたと後悔しており、これから何年続くかわからないが妻の看病に徹してあげたいと思っている。

よ! 子供たちが物心がつく大切な時期に貴方は家に居なかつたのだから! 育ち盛りの子供は手紙や物珍しいお土産を貰っただけで痛み・痒みまでは判らないでしょう、だから子供たちだって愛情が湧いてこないでしょうよ!!」と。一瞬胸をグサツと刺されるような何かを感じたと同時に目頭がジーンと熱くなり、子供達に済まない父親であつたなあ! と堪えていた事をいまだに覚えている。

その宴で、子供たちから「贈り物があるから話を聞いてくれますか!」と切り出された。オヤジが元気で店番をしてければ家族皆が助かるので、50年経った店を建て替えて(耐震構造)くれる!と言ったのだ。

人間は働くために生まれてきたのだから店番は苦にはならない!しかし今後とも店が永続していけるものかどう? 数年前から自問自答、まさに葛藤していた時期でもあつたので、一瞬戸惑いを感じながらも素直に受け入れることにした。新規普請の店舗になって2年目に入ったが私なりに幸せな日々が続いている。妻は妻なりに両親から引き継いだ店が新しくなつて「ホッ」としている様子である。店構えについては、妻に対する今までの苦勞に報いるためにも萬屋酒店の「暖簾」だけは残してあげた

いと夜間照明付きの看板を取り付けてもらっている。今、私にできることは月2回の病院送迎と2泊のリハビリ(温泉病院)送迎、そして5泊を上限に車椅子を押しての海外旅行の添乗である。妻は旅行から帰った直後は疲れた様子だが、楽しかった話も時折でてる。そして次の旅行計画をあれこれと練り始めていることが判る話もしている。これから先、何年続くかわからないが、私の生き甲斐の一つになっている旅行でもある。

衣食足りて…とよく言われるが、今は何一つ不足は無いと思っている。ただ、病弱の身で食事を作り、不慣れな私の店番に対して、心配しているいろいろな気遣ってくれる妻にただただ感謝するのみ。いつの間にか私の『座右の銘』は『借老同穴』の4文字に絞られていることに気づく。

『夫婦仲睦まじく暮りし、共に老い、天寿を全つて同じ墓に葬ってもらえる』ならばこれほど幸せなことはないまい。妻曰く、「人生は不思議なものです! 私が生まれ育った家よりも嫁いで来た他人様の家で過ごした年月のほうが長いのだから!」。茜色の眩い夕日が差し込む店の中に座して、幾年月(50年)苦楽を共にしてきた想い出を噛みしめているかのよつな妻の横顔が印象的であつた。

いと夜間照明付きの看板を取り付けてもらっている。今、私にできることは月2回の病院送迎と2泊のリハビリ(温泉病院)送迎、そして5泊を上限に車椅子を押しての海外旅行の添乗である。妻は旅行から帰った直後は疲れた様子だが、楽しかった話も時折でてる。そして次の旅行計画をあれこれと練り始めていることが判る話もしている。これから先、何年続くかわからないが、私の生き甲斐の一つになっている旅行でもある。

衣食足りて…とよく言われるが、今は何一つ不足は無いと思っている。ただ、病弱の身で食事を作り、不慣れな私の店番に対して、心配しているいろいろな気遣ってくれる妻にただただ感謝するのみ。いつの間にか私の『座右の銘』は『借老同穴』の4文字に絞られていることに気づく。

『夫婦仲睦まじく暮りし、共に老い、天寿を全つて同じ墓に葬ってもらえる』ならばこれほど幸せなことはないまい。妻曰く、「人生は不思議なものです! 私が生まれ育った家よりも嫁いで来た他人様の家で過ごした年月のほうが長いのだから!」。茜色の眩い夕日が差し込む店の中に座して、幾年月(50年)苦楽を共にしてきた想い出を噛みしめているかのよつな妻の横顔が印象的であつた。

いと夜間照明付きの看板を取り付けてもらっている。今、私にできることは月2回の病院送迎と2泊のリハビリ(温泉病院)送迎、そして5泊を上限に車椅子を押しての海外旅行の添乗である。妻は旅行から帰った直後は疲れた様子だが、楽しかった話も時折でてる。そして次の旅行計画をあれこれと練り始めていることが判る話もしている。これから先、何年続くかわからないが、私の生き甲斐の一つになっている旅行でもある。

衣食足りて…とよく言われるが、今は何一つ不足は無いと思っている。ただ、病弱の身で食事を作り、不慣れな私の店番に対して、心配しているいろいろな気遣ってくれる妻にただただ感謝するのみ。いつの間にか私の『座右の銘』は『借老同穴』の4文字に絞られていることに気づく。

『夫婦仲睦まじく暮りし、共に老い、天寿を全つて同じ墓に葬ってもらえる』ならばこれほど幸せなことはないまい。妻曰く、「人生は不思議なものです! 私が生まれ育った家よりも嫁いで来た他人様の家で過ごした年月のほうが長いのだから!」。茜色の眩い夕日が差し込む店の中に座して、幾年月(50年)苦楽を共にしてきた想い出を噛みしめているかのよつな妻の横顔が印象的であつた。

いと夜間照明付きの看板を取り付けてもらっている。今、私にできることは月2回の病院送迎と2泊のリハビリ(温泉病院)送迎、そして5泊を上限に車椅子を押しての海外旅行の添乗である。妻は旅行から帰った直後は疲れた様子だが、楽しかった話も時折でてる。そして次の旅行計画をあれこれと練り始めていることが判る話もしている。これから先、何年続くかわからないが、私の生き甲斐の一つになっている旅行でもある。

衣食足りて…とよく言われるが、今は何一つ不足は無いと思っている。ただ、病弱の身で食事を作り、不慣れな私の店番に対して、心配しているいろいろな気遣ってくれる妻にただただ感謝するのみ。いつの間にか私の『座右の銘』は『借老同穴』の4文字に絞られていることに気づく。



会員文芸

俳句

台柏寿会 新倉キヨ子

元旦の復興めどす日の出かな
健康で前進はこび福を呼び
我が友と絆で結び幸福を

北鎌倉瓜ヶ谷句会 山下力ヨ子

危うげに米壽を生きし初詣
屋形船目線を変えて桜賞で

岩瀬 荒木 隆一

佳き人のいまコンピニのおでんかな
初春や鶴はおらねど竹とんぼ

七里ヶ浜句会 阿部 弥生

春寒し荒野に火力発電所
日の出待つ四月の大地凍てついて

七里ヶ浜句会 加野 遙

土筆摘む度に見せ合い幼なごち
園児等の手に手に小さき鯉のぼり

七里ヶ浜句会 下條 怡生

白南風や雄叫びのごと応援歌
初燕^{アルプシツグ}αΩ曲飛行



七里ヶ浜句会 佐々木和子

外は雪鈴ふる巫女の緋の袴
背そりてオペラきく春たのしかり

七里ヶ浜句会 敦賀 笑子

春めけり庭木に声をかけてみる
菜の花や嫁の夕餉のうまくなり



明大生への反響

「私の大正・昭和史（戦前・戦中・戦後）」（やまもも 66号）を読まれた明治大学内藤朝雄教授（心理社会学）から事務局へのお申し出により、昨年11月に杜協会議室に学生10人を引率され、指名された郷原重雄、原田光が面会しご質問にお答えした。その時出席された学生の平塚大智さん、宮川絢一朗さんから、長文の感想文（約7700字）をいただいた。紙面の都合上、その大要を次にまとめた。

お二人は戦中・戦後の生々しい体験から、心に響く、私たち若者へのメッセージを伝えてくれました。戦地にまで赴かれた方からのお話を聞くのは初めてで、特に終戦の焼け野原からのあの日本の復興が、戦争を体験された人々たちの、より豊かな社会を目指す強い思いからなされたことをはじめて認識しました。

私の祖父が子供の頃に体

験した悲惨な東京大空襲の様子を、私に話してくれたことを思い出しました。九死に一生を得たお二人のお話は、ショックングであり、示唆に富んだものでした。戦地・内地を問わず、国民全員が苦しい思いをしたこと。終戦後、食糧をはじめ何も無い貧しい生活の中から、戦後の経済復興を担った人々の熱い心情が伝えられました。

生まれた年が1〜2年

早いか遅いかだけの違いで、徴兵や特攻に参加し戦死するなど、一生の運命が変わってしまった時代でした。現代の若い我々にも、同じように、次の時代の人たちのために、何ができるかなどと考えておくことも大切と言われました。

私たちはこれまで、後世のために何を残そうかの発想で、将来の進み方を考えてはいませんでした。こ

れから社会に出て行くにあたってのことを心にとどめておきたいと痛感しました。

貴重な時間を割いていただき、有難く、この体験で学んだことをより深め、社会に還元していけるよう努力していきたいと思えます。

明治大学

教授／内藤 朝雄
学生／平塚 大智
宮川絢一朗

キネマの天地

松竹第5回(最終回)



「男はつらいよ」ありき

—松竹大船最後の屋台骨を支えた山田洋次—



昭和38年12月「秋刀魚の味」(37)を遺作として小津監督は、悪性腫瘍のため自らの還暦の日に亡くなる。また、17年間に59本に出演した主力俳優の佐田啓二が小津を追うように、翌年8月不慮の交通事故死。5年前の高橋貞二の同種の死と合わせて、松竹の中心の監督俳優の喪失は大きな痛手だった。

38年は54本と最多の製作本数だが、空振り大作も目立ち、年収30億を割り込み大手5社の最下位となった。この危機突破のため定年引き下げ、ボーリング場を各地に建設する。この前後、木下監督は「永遠の人」(36)から「香華」(39)まで5本。大庭秀雄は「雪国」(40)、中村登は「紀ノ川」(41)、新戦力となっていた小林正樹は「切腹」(37)で38年度力ンヌ審査員賞第1位に輝き、野村芳太郎も「拝啓天皇陛下様」(38)、「五瓣の椿」(39)などがめばしい作品だった。山田洋次はハナ肇を主人公に新しい喜劇のジャンルを目指し

て、「馬鹿シリーズ」で着々と実績を積み上げていた。

木下は「香華」のヒットを是として、「戦場の固き約束」に取り掛かり、北海道のロケハンに赴く。この作品は、中国を舞台としたスケールの大きな製作費が高むもので、会社側は製作ストップを出す。彼は撮りたいものが撮れないなら居ても仕方がないと、31年在籍した大船から山田太一以下スタッフも連れて、テレビ界に活躍の場を求めた。TBSでは「木下恵介劇場・木下恵介アワー」と彼自身企画・脚本・演出と関与し、茶の間にしっかりと食い込み人気番組となった。



「男はつらいよ」—監督山田洋次。渥美清、光本幸子(昭44・8)

この頃、松竹で活躍した女優陣をみると、両親が新劇人の岩下志麻(35人)は、「笛吹川」、「五瓣の椿」、「紀ノ川」、「秋刀魚の味」と作品に恵まれ、東宝から転籍(32)した岡田時彦の遺児、岡田茉莉子は小津作品に2本出演、この2本の間に「秋津温泉」(37)を自らプロデュースし、吉田喜重を監督に指名。完成後結婚した。また、単行本「女優 岡田茉莉子」(2009)で自らの映画人生を回顧する才女ぶりである。S・K・Dから入った倍賞千恵子(36人)は、山田の「下町の太陽」以来「家族」など山田の主要作品には欠かせ

ず、「男は…」でさくら役を27年務めた。また、大映倒産で入社した松坂慶子は、「蒲田行進曲」、「死の棘」で主演女優賞も得て、いつしか松竹のトップ女優となった。そして、大島、篠田、吉田らヌーベルバーグ3監督は、松竹を退社し、中心的女優らと結婚。それぞれ独立プロを運営し、松竹の銀幕を飾ることもあった。

44年春、40歳の三嶋取締役が製作本部長になり、大船調映画の脱皮を目指し徹底したエンターテインメント路線を打ち出した。テレビで人気のドリフターズ、コント55号、フランク・堺などをどんどん起用する。こうして松竹の監督や俳優などの専属契約は形骸化し、他社との提携作品が主力となる。

さて、43年。フジテレビで山田シナリオによる渥美の寅で既に「男はつらいよ」が26回放映され、最終回で寅がハブに咬まれて死ぬと、なぜ殺したとの声が殺到した。山田は渥美の主人公を映画でさらに深めたいと城戸に訴え、やっと承認を得た。この決定こそが松竹のその後の命運を左右したのだ。こうして出足よく、すぐにシリーズ化され、寅の毎度の滑稽な失態から成長した満男の恋愛指導と局面は変わるが、毎度「とらや」での馬鹿騒動というマンネリを



「故郷」—監督山田洋次。倍賞千恵子、井川比佐志(昭47・10)

承知しつつ、丁寧に作られた流浪と定着の人情話に、27年で8千万の観客が映画館に足を運び、松竹の安定したドル箱映画となったのだ。

山田はこのシリーズと並行して「家族」(45・④1)、「故郷」(49・④3)、「同胞」(50・④9)、「幸福の黄色いハンカチ」(52・④1)、「遙かなる山の呼び声」(55・④5)と秀作を連打して、ありきたりでない家族の砦を描いた。

「男は…」が登場してから、正月・盆番組には「全員集合」シリーズとの2本立てが定番化。他の喜劇路線も好調で、さらに松本清張の文芸サスペンスものが常連となり、それに「必殺!」シリーズも加わり、49年には14年ぶりの念願の復配を果たす。しかし、前年、邦洋画配給比が44対56と逆転し、松竹も大船撮影所を合理化で松竹映像㈱と別会社とし、116名が自宅待機に追い込まれた。52年には城戸が急逝、前年の「大地の子守歌」を最後に田中絹代も逝く。翌53年にはついに、所内西北にイトーヨーカ堂と三越が建つ。この年の製作は9本だったが、

この後、2桁の製作にはついに戻れなかった。46年から閉鎖の平成12年(2000)までの30年間を総括すると、「男は…」が松竹の代名詞ともなり、54年から平成7年までの17年間93本のうち50本が山田一門の手による作品で、山田洋次が末期撮影所の屋台骨を支えた。この時期に記録に残る他の作品としては、「みな殺しの霊歌」、「旅の重さ」、「約束」、「砂の器」、「鬼畜」、「事件」、「復讐するは我にあり」、「夜叉ヶ池」、「神様のくれた赤ん坊」、「蒲田行進曲」、「天城越え」、「時代屋の女房」、「魚影の群れ」、「鍵の権三」、「異人たち



「天城越え」—監督三村晴彦。田中裕子、伊藤洋一(昭58・1)

との夏、「利休」(H1)などが。54年、15年ぶりに木下監督が松竹で「衝動殺人 息子よ」(④5)を撮るが、引退していた高峰秀子に懇請して、彼女にふさわしい最後の出演作となった。翌年も「父よ母よ!」さらに「この子を残して」では長崎の被爆の凄惨さを描き、これらの作品は従来の作風と異なる怒りを込めたもので、特に「この子…」は木下最後の堂々たる反戦映画だった。

この間山田組による「釣りバカ日誌」が63年に始まり、8作目の年、渥美の死で「男は…」が48作で終了。その役を三国・西田コンビで息が合った22作と奮闘し、撮影所閉鎖後の平成21年(2009)まで続いた。山田監督は大船開業50年記念映画「キネマの天地」(61)の後、平成2年「男は…」43作目の前に「息子」を撮り、14年ぶりにキネマ旬報1位となる。この作品は現在日本が抱えている家族環境の一面を捉え、従来の家族映画から一歩踏み出し、社会問題と合流させた新たな視点が感じられ、「学校」へと続く秀作である。必見!

翌々年に笠智衆の逝去の年、かねて市民ホールの新設という要望があり、撮影所南部地域に市の「鎌倉芸術館」が開館した。そして、創業100周年記念事業として、200億を投入して「鎌倉シネマワールド」が10月開業する。しかし、この映画村は駐車場が少なく交通麻痺状態が続き、目

標の売上げに届かず、あえなく平成10年12月、3年2ヶ月で閉館となる。

この年木下恵介が亡くなる。平成5年から「学校」シリーズを撮り続けていた山田は、売却後の翌12年「十五歳 学校Ⅳ」が撮影所最後の作品となる。4作ともベストテンに入り、閉所後も2年に1本のペースで時代劇を3本、「たそがれ清兵衛」(④1)他、また、吉永小百合で「母べえ」、「おとつと」と、松竹マークの作品を撮っている。昨年春から着手予定だった「東京物語」へのオマージュとしての「東京家族」は、東日本大震災をシナリオに織り込んだ作品とすべく、1年延期し現在製作中だ。

最後に想うに、松竹の唱えた城戸のディレクターシステム・シナリオ重視は、他社と一線を画したもので松竹独特のカラーを出す、よき温床であった。しかし経営面では全盛期の大量生産方式と配給システムに固執し、他社に比べ改革が手ぬるかった。それはやはり創業者のトップ滞留が続いていたからでもあり、また、せっかく育てた人材を簡単に手放し後を追わず、大様でありすぎた。また、蒲田以来の庶民的家族に焦点を合わせる伝統は、小津(起)・木下(承)・山田太一(転)テレビ界で活躍——山田洋次(結)とつながり、笠智衆の父親、秀子の太石先生、渥美の寅さんと、やさしい心は松竹が訴えた「こころ」として確実に生きている。

大船撮影所の人々によって作られた1495本は、建物は消えても大きな遺産として残っている。

今回は特に山内静夫著『松竹大船撮影所覚え書』によるところ多く、山内氏に厚く御礼申しあげます。

※④はキネマ旬報ベストテンの意味 (門田 京蔵)

やまもも川柳

本阿弥光敬 選

宿題「長生き」

白扇会 寺島 幸子

長生きの神が敬遠夫逝く

高齢化高嶺の花が長寿なり

白扇会 池田 米一

クラス会頭の照りを競いあい

辿り行く江の島道は長寿道

白扇会 村尾巳代子

いつまでも隠居させぬ子供達

長生きし百才坂を越えてやる



寺分 大谷 直吉

長生きし孫の結婚いま迎え

長生きは低空飛行景色よし

植木 加藤 隼浩

長生きを願う新年延寿屠蘇

長生きも生きてればこそ叶うもの

長谷甘縄会 原 俊子

長生きに主婦の荷物が背に重い

年令を言っってはばかる高齢化

白扇会 佐久間久實

長く生き檜舞台と奈落みる

長生きの自分史けわし山河あり

城廻 宇野 笑子

バランスのいい暮し方姉卒寿

お迎えがおそいと歎く百一才

城廻 和田 雅子

長生きの血統だけど油断せず

目的は長生きだけどこだわらず

城廻 大原 武夫

リニアまで粘って乗ってあの世行き

岩瀬 荒木 隆一

長生きも好きでしている訳じゃない

長生きもいけれど失せ物多くなり

二階堂白寿会 辰己 佳史

長生きも心の化粧忘れずに

長生きは定年なしの人生路

極楽寺橘会 中井 全子

年老いて友も元気でうれしいね

年明けて湯船難の身を戻す



極楽寺橘会 山下ヨシ枝

長生きは国の政治に支配され

長生きは親から貰った玉手箱

西鎌倉福寿会 羽鳥 光男

長生きし孫にも返す親の恩

古希の子が卒寿を祝う長寿国

上町屋 前山てる子

秘訣はねマイペースです百までも

上町屋 沼上 賢一

自信あり俺の長生き夢の中

長生きし過去の美談話したい

西鎌倉 鳩 三郎

八十路坂諸国漫遊長寿の湯

春が来た唱歌を歌う長寿会



笛田東芝 原田ダルマ

過ぎ行きし人と時間の大切さ

自分史に共に歩んだ華を添え

自由吟

白扇会 池田 米一

何語る金星抱く上弦の月

紅花を実一つに代え散った木瓜

白扇会 大谷 直吉

楽しみは一人の孫と語ること

長谷甘縄会 原 俊子

難聴にうわさ話は良きこえ

ペースメーカー再出発と脈をうつ

城廻 大原 武夫

ゆりかごの樽に原酒を寝かしつけ

ひいき目がわが子見る目を狂わせる

城廻 角井 祐子

青春を語る母の背しやんと伸び

甘やかし後で手を焼く子の蜷

岩瀬 荒木 隆一

腹の立つばかりなりオエライさん

神様も札売り歩く歳の暮れ

寺分 佐久間久實

湯たんぽの温もり恋し朝の床

長老とおだてて役を背負わされ

上町屋 前山てる子

カラスの分足して今年も種を蒔く

上町屋 沼上 賢一

お年玉孫の成長比例する

釣り人に何が釣れるか聞く勇氣



極楽寺橘会 山下ヨシ枝

夕映えの庭におしゃれな四十雀

夜もすがら昔に戻るクラス会

十二所 沖田 俊昭

お互いに長生き出来たことを喜め

優しさで長生き出来た寿老人

西鎌倉福寿会 羽鳥 光男

高下駄と弊衣破帽はいまピアス

背負いきれぬそつと野に置け理想論

西鎌倉 鳩 三郎

酒飲んで江ノ電に乗る極楽寺

よく効いたちんぷいぷい母の顔



笛田東芝 原田ダルマ

明日から新たな一歩靴が鳴る

明日の日を楽しむための今日がある

講評

人類の永遠の望みである長生きは単なる長生きすることではなく、健康で幸せな人生を願っています。平均寿命が毎年延びていく中で、何歳からが長生きかなと、ふと思うことがあります。

人口問題研究所によると平均寿命は現在79歳だった男性が50年後に84歳に、女性86歳が90歳にそれぞれ伸び、さらに人口の4割が高齢者になるといいます。

寄せられた句一人ひとりが持つ事柄や内容の違い、人間模様が展開され面白い物だと思いました。

光敬

次回の川柳募集

一、宿題「喋る」

旅の宿お喋り好きが眠らせず

お見合いへ付き添う母がよく喋り

あんみつがきてお喋りが一時消え

お茶替えて母の繰り言聞いてやり

二、自由吟（雑詠）

毎日の生活や身の回りの出来事を

自由自在にユーモアの切り口で詠んでください。

三、はがきに各3句以内（住所・氏名・所属クラブ・年齢）ご記入ください。

※締切は69号に記載致します。

※締切は24年8月20日

送り先 教養部事務局

原田 光

（鎌倉市笛田4-11-5）

保険年金課に聞きました

未支給年金と遺族厚生年金について



鎌倉市健康福祉部保険年金課前・年金担当の樋口課長補佐にお話をうかがいました。

保険年金課には、国保給付担当、国保保険料担当、医療給付担当、年金担当の4つの部署がありますが、そのうち年金担当では、主に国民年金について扱っています。

今回は年金の中でも、特に未支給年金と遺族厚生年金について詳しくお話を伺いました。

《必要なもの》

- ・年金証書 (無い場合は、その旨を申し出てください)
- ・請求者の預金通帳
- ・印鑑

以上を用意し保険年金課または年金事務所の窓口へ。(※)

・このほか請求者の住民票、亡くなられた事が確認できる住民票の除票、戸籍謄本 (亡くなられた方と請求者の関係がわかるもの) 等が必要、また、ケースにより生計維持・同一証明書が必要ですが、窓口でご相談の時に必要なものについては詳しく説明します。

未支給年金を請求できる方も決まっており、配偶者↓子↓父母↓孫↓祖父母↓兄弟姉妹の順に請求ができます。

※注意点

- ・請求する遺族が居住する市町村を管轄する年金事務所へ請求してください。(例・子が横浜市なら横浜市の事務所に請求をする)

鎌倉市では協力・連携として、遺族厚生年金が発生しない限り全ての未支給年金を預かり、年金事務所へ送付しています。共

済年金は、共済組合にご相談ください。

◆遺族厚生年金の請求案内について

まず遺族厚生年金というのは市役所では受け付けはできません。しかしご相談していただければ、必要な物をお調べして年金事務所に請求に行ってくださいといふ案内がきます。

・厚生年金を受給している方が死亡し、配偶者などが遺族年金を請求する場合は、年金事務所での手続きになります。

《必要なもの》

- ・年金証書
- ・戸籍謄本等
- ・住民票、住民票の除票
- ・請求者の預金通帳
- ・印鑑

・請求者の所得証明書 (夫が亡くなり妻が請求する時、妻にどれくらい所得があったかを証明する)

・死亡診断書の写し

※人により揃えるものが違う場合があるので、事前に「ねんきんダイヤル」や鎌倉市を管轄する藤沢年金事務所に確認するとよいでしょう。

藤沢年金事務所

☎04661501151(代)

ねんきんダイヤル

☎05701051165

《支給例》

- 夫死亡、妻65歳以上の場合
- ・夫の老齢厚生年金の4分の3。
- ・ただし、妻に老齢厚生年金が

ある場合は、遺族厚生年金と妻の老齢厚生年金の差額を遺族厚生年金として支給。

・年齢や受給状況により違うので、請求時に試算をしてもらい、確認をしてもらうことが大切です。

※遺族年金の件で電話で問い合わせをする時には亡くなられた方と、自分の基礎年金番号を確認して問い合わせを早くして便利です。

◆その他お伝えしたい点

●発行・送付について

市町村が発行する年金関係の書類はなく、日本年金機構がすべて発行・送付されています。

- ・源泉徴収票
- ・保険料控除証明書
- ・ねんきん定期便

・裁定請求書などのお知らせ

・額改定、振込通知等

※年金から控除されている市県民税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の具体的な保険料等については、それぞれの担当課に確認をしてください。

●その他

別件になりますが、最近確定申告をされる方からの問い合わせが多くあります。年金をもらっている方は源泉徴収票を1月の中旬くらいから送られてきているかと思っています。

これは市役所が発行していると思われる方がいらっしゃると思いますが年金事務所が発行しています。なくされた方には再交付もできますので、その時は年

金事務所方へお問い合わせください。

※今回の内容に関してご不明な点がございましたらまずは、保険年金課へご相談ください。お問合せは：年金担当

☎6113963

(聞き手＝門田・原田)



旅のことならおまかせ下さい!

各種団体旅行、家族旅行等 国内旅行から海外旅行まで…
神奈川県知事登録2-788号 総合旅行業務取扱管理者：田中俊之

(株) 新中央ツーリスト 横浜営業所

鎌倉市担当：上坂 健

〒245-0014

横浜市泉区中田南2-1-30

☎(045) 805-1173



鎌倉散歩

大町から材木座・小坪へ
山越えて海岸へ出る

長勝寺・光明寺・内藤家墓
和賀江島・正覚寺（住吉神社）



日蓮大聖人銅像

季節を問わず、観光客でにぎわう鎌倉駅周辺から少し外れると、意外に静かな場所にぶつかりほっとするものである。そんなところがこれから行こうとする鎌倉市の東南にある。

駅前より「緑ヶ丘入口」行きのバスに乗り（歩いても15分）、長勝寺バス停で下車、少し戻って左に入ると長勝寺の山門があり、そこに入ると高村光雲作の日蓮の巨大な銅像に迎えられる、背後に立つ帝釈堂の屋根の薄緑と金色の宝珠のコントラストが印象的だ。



光明寺大聖閣



赤木圭一郎之碑

鐘楼の横を抜けると、裏山に上る階段があり、左手に日本のジェームス・

霊園の背後の坂を下って紅ヶ谷の住宅地を抜け10数分で、バス道路に出て少し行くと、光明寺の入り口、巨大な山門が迎えてくれる。ここは浄土宗の関東総本山、広い境内には色々と見るものがあるが裏山からの眺めは素晴らしく、かな

わ景勝50選になっている。

ここから第一中学校の正門の先の坂道を下ると、右手に日向延岡藩主内藤家の墓地がある。巨大な宝篋印塔を含む墓塔群が壮観である。

光明寺前のバス道路を小坪方面に向かうと、小坪海岸トンネルがあり、抜けたところを少し右に行くと山際に手すりのついた小さな階段が見えてくるが、ここが正覚寺の入り口である。

こぢんまりとした寺であるが、海がとても近いので、読経をバックに波の音が聞こえるような風情がある。境内からは和賀江島の石碑

が海の中に見え、素晴らしい眺望が楽しめる。階段上は住吉神社である。左側の小坪へ抜けるトンネルがあるが現在は通れない。この小丘陵は三浦氏の住吉城址である。

階段を降り、海沿いの道

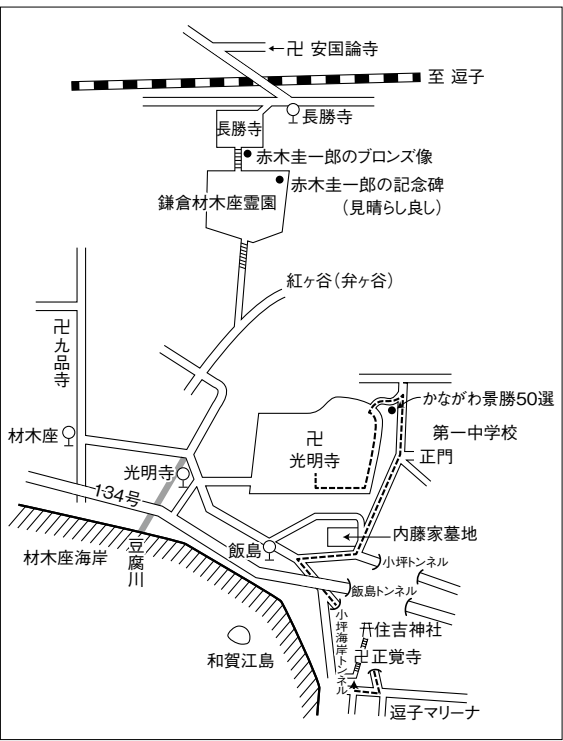
編集後記

▼10年前（H15・1）「やまもも」50号再出発から携わってきましたが、今号にて編集長を交代いたします。▼当初から私自身のキーワードとして昔の鎌倉

をできるだけ紹介し、他の老人クラブ紙とは一味違ったユニークな読みがいのある紙面を目指しました。趣味に走りすぎるとの批判がある一方、文芸欄が楽しみの声もありました。特に対

談のお相手、また「教養部の今一つの事業寿講座」の講師の選定は大変難儀なことで、それだけ自分が試される場もあり、知己を得た後は至福の思いが残りました。▼さて、10年が経過しましたので、この辺りで紙面刷新という方向で検討するチャンスかと思えます。原田新編集長

を右手に進んでバス道路に出ると、飯島のバス停が近い。（赤井）



◆ご協賛各位へ御礼◆

「やまもも」発行に際しご協賛いただきました各位に厚く御礼申し上げます。本紙は会員相互の交流と生きがい向上に、さらに内容の充実に励んでまいります。今後も倍旧のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。 みらいふる鎌倉

による新しい紙面の展開を期待しましょう。なお、総会での講演「松竹の残したものの」の事前講座をご希望があればお申し出下さい。（門田 京蔵）

原稿募集—投稿規定—

◎自由題とします。その中には66号で掲載した『私の大正・昭和史』への投稿もOKです。600～800字程度。写真などは1～2枚まで。

◎送り先：鎌倉市役所高齢者いきいき課内みらいふる鎌倉事務局まで（鎌倉市御成町18-10）

◎締切：平成24年8月末日

◎紙面割りの都合で、原稿の採用、内容の一部修正等についてはご依頼します。原稿等は返却いたしませんのでご了承ください。